RIPPLE SAILING CLUB
NO.80

月刊１９８９・5.１５
RIPPLE

（発行）　500円
リプル・セイリングクラブ
〒238-03
神奈川県横須賀市長井２－１１－１
℡　０４６８－５７－１７１１

塩野谷氏入院特別企画

ヨットレースで前の方を走るには

リプルニュースが原稿不足になると出てくる

長谷川　篤

ゴールデンウイークも終った月曜日、私が仕事から帰って来ると塩野谷氏より留守番電話が入っておりました。

「もしもし、塩野谷ですけど明日手術なのでリプルニュースが書けません、ハッシー悪いけど何か原稿書いて！」・・・・１つめの伝言。

「もしもし、塩野谷ですけど明日手術なのでリプルニュースが書けません。ハッシー悪いけどコンピューコースの使い方についての記事お願い！」・・・・２つ目の伝言。

「もしもし、塩野谷ですけど明日手術なのでリプルニュースが書けません、ハッシー悪いけど１５日までに原稿宜しく！」・・・・３つめの伝言。

「もしもし、塩野谷ですけど留守番電話の具合い悪いみたいだよ！」・・・・最後の伝言

と言う訳で、今回は退院後のリハビリの一環として、ヨットレースをやってみようとしている塩野谷さんのような人のために、リプルカップなどのヨットレースで速く走るにはどうしたら良いかについて、基本的な部分に付いて述べたいと思います。

一般的にリプルカップ等のヨットレースでは、図１に示すような３つのマークを反時計回りに走り順位を競います。

ヨットレースを走る上で必要な規則に付いては、「ＩＹＲＵヨット競技規則」という本や帆走指示書に書かれているので、レース出る前に読んで頂くとして（自分も詳しくは分からない）、ここでは実際にレースで速く走る為のノウハウについて述べます。

レースで速く走る為には、以下に示すレースの時点時点で自分を有利なポジションに導くためのタクティクスを駆使する必要があります。

１　スタート時

ヨットレースのスタートは、図２に示す様に本部艇とアウターマークとの間をスタートラインとしてフォグフォーンを合図に一斉にスタートします。

フォグフォーンはスタート１０分前と５分前そしてスタートの時に鳴らされます。この時に大事なことは－－－－－－

（１）　スタートのフォグフォーンに合わせてスタートラインを切る。
スタート前の準備として、スタート時にスタートラインを横切る為にはスタートの何秒前に自分は何処にいれば良いかを計っておく。

（２）スタートラインの有利なサイドからスタートする。
スターボードで走ってみてスタートラインに対して－－－－－－
上り角度が良いとき：風上サイドが有利
上り角度が悪いとき：風下サイドが有利

また、スタートラインに対してポート、スターボーで上り角度の有利不利が無いときは、風上サイドが有利と言われています。

（３）スタートラインには、スタート時刻より少し早めに付くようにする。
スタートラインには、スタート時間より十何秒か前に付くようにし、スタート時に回りの船との関係から、自分が不利なポジションに陥らないようスタートライン上を走りながらスタート位置を調整する必要があります。

２．風上マークまで

スタートから風上マーク、風下マークから風上マーク、風下マークからフィニッシュラインまで、というようにヨットレースには３回の風上に向かうレグが有ります。

風上に向かうということは、皆さんよくご存じのクローズホールドでの帆走ということで、基本的にはしっかりクローズホールドで走れば良いのですが、レースで前の方を走ることを考えた場合、以下に示すようなポイントが有ります。

（１）風の吹いている所を走る。
海面のさざ波の具合いや他の艇のスピードに常に注意を払い、なるべく風の強く吹いているエリヤを走るようにしましょう。（強風時は除く）

（２）風の振れに注意する。
風上マークに対して上り角度が悪くなってきたら、すぐタックするようにして、風の振れに対して高さを稼ぐようにしましょう。

（３）艇を起こして走る
風が強くヒールが酷いときは、少しラフする（上らせる）、セールを出す、などの処置をおこない、艇をフラットに保つようにしましょう。
（風が強いときは、セールをフラットにすることで、ヒールを少なくすることが出来ます。）

３．風下マークまで

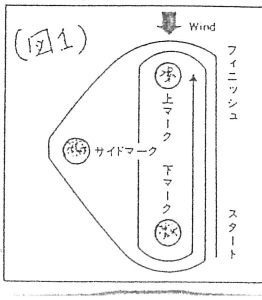
風下マークまでのレグには、風トマークからサイドマークを経由して風下マークにいたるレグと、風上マークから直接風下マークに至るレグの２通りが有り、大体クオーター、ランニングでの走りとなりなります。

（１）他の艇からの影響を受けずに走る。
クオータ、ランニング等の風下に向かう走りでは、他の艇からからの乱れた風の影響がボートスピードに大きな悪影響をあたえます。
従って、風下に向かう走りでは、他の艇の位置に充分注意し、乱れた風を受けないように走ることが肝心です。

（２）まっすぐに走る。
風下に向かう走りでは、なるべくマークとマークの間を直線的に走り、全体として短い距離で走るようにしましょう。

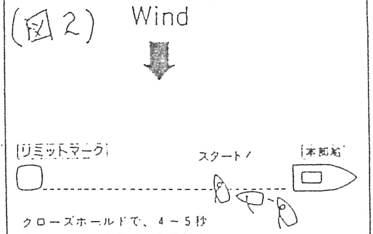
大体、以上のことが私がレースを走っている時注意していることです。
この他にも相手との駆引き、艇のチューニング、より風のシフトを利用するためのコンパス、コンピューコースの使用などレースを走る上で考えることは無限にあります。
今回書けなかった分については、来月以降少しづつ書いていきたいと思いますので、お楽しみに！。

（図１）



ヨットレースの最も代表的なコースはオリンピックコースだ。これは下スタート－上マーク－サイドマーク－下マーク－上マーク－下マーク－上マーク・フィニッシュという順でマークを回るもの。

（図２）



クローズホールドで、４～５秒早めにスタートラインを目指す。
風上艇に注意すること

懲りないS氏

すいません!! ごめん!!
めりーめりー!! すいません

５月９日（火）午後５時少し前、点滴をされたままの１８０ｃｍ近くの仰向けの巨体を乗せたベットは緩やかに動きだした。
白い衣類に身を包んだ二人のうら若き、かつ優しい女性は馴れた様子でゆっくりと、しかもてきぱきと、８５Ｋｇの巨体を乗せて移動を行っている。
巨体の目に映る物は下から眺めている為、想像は出来るものの防火用の散水機、火災報知器と、いつもとは違った光景に巨体は悦に入っていたのである。

毛布がかぶせて有るので関係者だけにしか分からないが、巨体の左足首は、足間接脱臼開放骨折のため、事故より１８日経過しているものの、すでに腫れは引けたとはいえ、まだまだ不気味に腫れ上がっていた。

エレベータが停止し微かに巨体にＧが感じられた。
巨体の左足首の観血的複製固定術という手術を行うため手術室へと、ベットは移動した。

入口すぐの所でやっとベットは停止した。
なにやら申し送りのような事務的な会話のやり取りの後、病棟担当の二人のうら若き女性の ”頑張ってね！”の励ましの言葉が終るか終らないかのうちに、薄いブルーの衣装に身を包んだ、それも鋭い目だけしか露出していない手術室担当の４人の恐そうな女性に取り囲まれてしまった。
４人全員が鋭い目付きで巨体をのぞき込んでいる。
観念はしていたものの雰囲気が急にそれっぽくなって来て、一瞬巨体は動揺してしまった。

その日何時間か前に、病室で迷いながら身につけたT字帯と術衣は4人によりあっという間に仰向けのまま、身ぐるみはがされてしまった。
健康体の時ならば、さーこれから５Ｐだぜと、がぜんハッスルするところであるが、巨体の頭の中にまったくそんな考えは起こらなかった。
巨体は、エアーの吹き出るトンネルを通過し、いかにもさっ風景な光景のなかを２、３回直角に左右に曲がりそれと分かる部屋に到着した。
天井には例のライトが光を放ってこそいないが、雰囲気を盛り上げるのには、充分に主役的な存在であった。
そして 消毒はしてあり無菌状態であろうことが理解できても、いかにも古めかしいグリーンのビニールの様なシートが敷いて有る細長いベットの横に巨体を乗せたベットは、横付けになった。
巨体は手慣れた４人に抱きかかえられて細長いベットに移された。
ひんやりとしたグリーンのビニールの様なシーツの感触がお尻とか、背中に伝わってきた。
余りにも細長いベットなので転げ落ちたらどうしようかと、訳の分からぬことを考えながら回りを見回すと、四角いデジタル表示式の心電図の機械やら、巨体には理解できない同じ様な装置が３－４個ベットのそれも頭部の方に置いてあった。壁にはオペの時使用するだろう様々な器具が整然と置いてあった。

１０数坪位の広さのなかで１０名近くの男女がせわしく動き回っている。
レントゲンの写真を例の蛍光灯の版に、やたら、かつんかつんと音をたてながら差替えて見入っている者もあれば、足元の方では３人ぐらいの人がその箇所を見つめながらぼそぼそと立ち話をしたり、麻酔担当の人であろうか、血圧とか心電図の２－３ページに及ぶ表みたいのをぺらぺらっとめくりながら色々な数値を告げていたりするのである。

暫くすると主役のライトが大きく弧を描き足元の真上に来て明るくなった。
「これから腰椎麻酔を行います。」という声と共にピーンという緊張感が漂った。
巨体は丸裸のまま数人の看護婦に押さえられ海老の様に丸くさせられ、腰を突き出す様な姿勢のまま麻酔を打たれた。

再び仰向けになった巨体は両腕を大きく広げれられ、右腕には自動的に血圧が計れる例の袋を取り付けられ、左腕には点滴と絶体絶命の状態になってしまった。
すかさず胸の辺りについ所の様な布を掛けられ、視界が極度に狭まり巨体は楽しみが無くなりかなり落胆したのである。
しかし、それにも負けず左右に首を振り自分の心電図を見たり、息を止めたりして「ピコッ、ピコッ、ピコッ」という定期的な発信音を乱したりして、気を紛らわしていた。
いつ始まったのか分からないが、既に手術が開始されているのである。
巨体は相変わらず左右をきょろきょろしていると、お節介にも「気が散るでしょう。」ということで目にガーゼの様なものを掛けられ、手術の情報は耳だけになってしまった。
耳を澄ませ聞いていると、まるで人間の手術とは思われず、壊れた電気器具を修理するかのようなやり取りなのである。
「ハンマー」。「ペンチ」。「ラジペン」。「ドリル」の器具が頻繁に使用されているらしく交互に何度も飛び交っていた。
目隠しををされてはいるものの「コン、コン、コン」とか「ウイーーーーーン」とかの音で確実に使用されているのが理解できてしまうのだ。
どの位時間が経過したのであろうか、うんざりも通り越した頃視界が再び回復した。
横にはさっき乗ってきたベットの上に巨体の用意した浴衣とＴ字帯がきれいに広げられていたのである。
再びそのベット移され移動を開始した。
移動の途中で見た廊下の壁に掛かっていた丸時計はちょうど7時３０分を差していた。
巨体のベットのネームプレイトには黒のマジックで塩野谷と書いてあった。

たくさんのお見舞いの方 どうも[illegible]りがとう!!

こんな訳で会員の方にはしばらくの間ごめいわくをおかけ致しますのでよろしくお

ヨット駅伝は6月18日(日)です.

1チーム8名により行なわれるヨット駅伝は.
6月18日(日)逗子海岸で行なわれます.
使用艇はホッパーで2名づつ乗り込み
競い合います. まだ会議を行なっておらな
ため細しい事は報告できませんが出場
者を募集中です。

※羽毛布団レースは延期になりました.
後日日程をお知らせ致します。